



平成28年度 第7回まなざしキラリ賞

この賞は、子どもを育む4つの場（家庭、地域、企業等、学校等）で、4つの視点（命、自立、他者とのかかわり、子どもを取り巻く環境）を基準に“★キラリ★”と光る取り組みをしている団体や個人を表彰するものです。



キラリ大賞



〈個人の部〉

日浦 淳(若楠)

15年前より、子ども会活動の支援に参加。子ども会の催し物で、地域の子どもたちに喜んでもらおうとバルーンアート教室の披露を始められる。その後、土曜日に若楠校区で始まった地域子ども教室の支援や小学校のゲストティーチャーとしても尽力される。また、月に2回、若楠小学校図書館で、バルーンアート教室を10年以上にわたり開催し、子どもの健全育成に貢献。若楠校区の子どもたちから「風船おじさん」と呼ばれるほど親しまれている。



〈団体の部〉

子供会育成会と新栄っ子(新栄)

子どもたちの健全育成を願い、子どもたちに農業体験をさせる事業(田植え・稲刈り・収穫した米で餅つき)を昭和61年からスタートして30年、団地化が進む中、地元のみなさんの理解を得ながら田んぼを確保し、農業体験事業を実施してきた。これまで参加した子どもたちは2000人を超え、この農業体験を通じ、地域の農業への理解・共同意識と高齢者への心遣い・助け合い等々、多くのことを学んでいる。子どもたちの健全育成に大いに貢献している。



大渡 秀男（西与賀）

10年ほど前から、交通事故被害・加害者0を目指し、毎日校区内パトロールをされるとともに、西与賀小や城西中の災害時引取り訓練や安全教室等の学校行事や通学合宿等にも積極的に関わっていただき、子どもたちにあたたかく接していただいている。市内で強盗事件等が発生したときには、いち早く交差点に立ち、地域の安全保持に取り組み、PTAのよき手本にもなっている。



武富 直樹（兵庫）

平成22年より、東中野・西中野区内の通学路に毎日欠かさず立ち、見守り活動をされている。子どもたちの交通事故防止はもとより、登下校の安全安心につながっている。また、あたたかい笑顔で子どもたちとあいさつや会話を交わされ、子どもたちの健全育成にも貢献されている。



樋口 秀喜（兵庫）

平成22年より、東中野区内の通学路にほぼ毎日立って、見守り活動をされている。子どもたちの交通事故防止はもとより、登下校の安全安心につながっている。また、いつも元気良く子どもたちとあいさつをかわされ、子どもたちに元気を配り、子どもたちの健全育成にも貢献されている。



渡邊 一成（兵庫）

自治会長を務めていた平成23年より、ほぼ毎日東瀬区内の車の多い県道の交差点に立ち、見守り活動をされている。子どもたちの交通事故防止はもとより、登下校の安全安心につながっている。また、子どもたちとも笑顔であいさつをかわされ、子どもたちの健全育成にも貢献されている。



田中 勝（兵庫）

平成12年より、長年にわたり東中野区内及び西中野区内の通学路に立ち、毎日早朝より子どもたちの安全安心の見守り活動をされている。ご自宅から見守り場所まで結構離れているが、毎朝バイクで来られている。また、田植えや稲刈りなどの学校での体験活動にも積極的に支援していただいている。子どもたちとも笑顔であいさつをかわされている。



橋本 憲寛（高木瀬）

これまで5年にわたり、毎朝会社に行かれる前の午前7時頃より8時過ぎまで、高木瀬小近くの交通量の多い交差点で、子どもたちが安全に、そして安心して道路を横断できるように見守り活動をされている。自分の子どもさんより早く家を出て、どの子にも笑顔で声をかけておられ、今では子どもたちの気分や体調もわかるようになっている。



横尾 浩明（北川副）

これまで6年にわたり、毎年テーマを決め、校区の町区懇談会を主体的に開催されている。平成28年度は「ネットトラブルから子どもを守る」のテーマで、12日間23箇所で開催し、500～600人の参加者があった。また、校区内の巡回活動や街頭活動にも尽力されており、子どもたちの健全育成にも貢献されている。



林田 紀子(北川副)

平成22年から北川副小学校の「学び応援団」として、週2回の朝のスキルタイム(国語、算数のプリント学習)の運営及びサポート、ユニバーサルデザイン教育の学習会、講演会企画運営、漢字検定試験の実施など、北川副小の子どもたちの学びが高まるよう尽力されている。また、11年前から助産師と一緒に、小学2年生に「命の授業」もしていただいている。



豊田 陽喜(芙蓉)

定年退職後約15年間、毎朝、通学路にある自宅の前に立ち、児童・生徒の交通安全指導、挨拶運動をされている。道幅が狭く、しかも近くに事業所もあり、市営バスの路線でもあるので交通量も多く、事業所への通学時間帯の徐行の申し入れまでしていただいている。児童・生徒の交通事故は0であり、まさに町の父親的存在である。芙蓉校の読書指導にも来ていただいている。



池田 敏幸(開成)

平成25年から朝の交通指導・挨拶運動はもとより、毎週火・木の朝のスキルタイムの支援、クラブ活動(手話クラブ)への支援、昔遊び体験などの教科の学習支援、夏休みの寺子屋での指導、振り休パークのお世話等々、学校のあらゆる活動にボランティアとして参画していただき、学校支援に尽力していただいている。



吉武 登(諸富)

平成24年より、毎月5、15、25日には、小学校校門前交差点に立ち、小・中・高校生等への挨拶運動をされている。また、諸富町の子どもたちをもっともって元気づけようと他地区のお祭りを見学し、実行委員の方との意見交流を重ね、「もろどみこどもフェスタ」「こどもみこし」をさらによりよいものにしようと尽力されている。



糸山 富安(諸富)

子ども見守り隊に所属しても8年目となり、新1年生の入学時1ヶ月程度、学校から家の近くまで、下校見守りをされている。平成24年から学校行事等にも積極的に参加されている。また、子どもフェスタでは、昔遊び(竹トンボ・ゴム鉄砲作り)を通して子どもたちに関わったり、小学2年生の町探検の引率をされるなど子どもの見守りに貢献されている。



岡本 喜代子(諸富)

平成15年より諸富の小学校で始まった読み聞かせ活動に参画され、その後平成17年に結成された小学校・幼稚園・施設等で活動するグループ「おはなし連絡会 morodomi」の会員として、当初より参画し、主体的に活動するとともに会員の相談役としても尽力されている。昨年は会のリーダーとして、10周年記念行事を開催された。



川原田 浩二(春日)

平成24年に春日小学校PTA会長(3年)をされたことをきっかけに、退任後現在に至るまで5年間登校時、通学路交差点にて、挨拶運動・交通指導に立っていただいている。登校時の児童の様子についても気になったことについて、学校に情報を入れてもらうなど、学校にとっても大変ありがたい存在である。



キラリ賞(個人の部)

西久保 雅代(春日)

平成24年より春日小の特別非常勤講師として英会話クラブ活動に来ていただいているが、ボランティアで、5・6年生の外国語活動にT2講師として、年間を通して積極的に活動していただいている。バレーンフェスタのときには、競技に参加した外国のチームとコンタクトを取っていただき、5年生との交流を深めることができた。児童たちもこれらの活動を毎回楽しみにしている。



山口 和弘(三瀬)

平成16年、わが子の保育園入園時から出勤前に、国道263号線沿いの横断歩道に時々立たれるようになり、平成18年度からはほぼ毎日立って、小中学校に登校する子どもたちに声をかけたり、黄色い旗で車に注意を喚起されたりしている。通学路でのサルの出没や危険なことについて学校にも報告をいただいております、学校としても大変助かっている。



船津丸 幸男(思斉)

毎朝子どもたちの登校の安全を見守っている中で、中学生の自転車のチェーンのはずれやパンク、ハンドルのゆがみなど自転車の整備不足や手入れ不足に気づかれ、子どもたちが交通事故にあわないようにと、3年前より、春と秋の年に2回、ボランティアで全校生徒の自転車点検・整備をしていただいている。不備のあった自転車の修理も無償でしていただいている。



おはなし糸つむぎ(循誘)

循誘小学校読み語りボランティア「おはなし糸つむぎ」は、主に12名で活動され、今年で19年目を迎えている。毎月第3金曜日の朝の時間に全学年の教室で読み語りをしていただいている。お話の種類も幅広く、「大型絵本」「パネルシアター」「すばなし」「朗読」「手遊び」等、大変充実しており、子どもたちも大変楽しみにしている。他にも読書集会、平和集会等でも読み語りをしていただいている。



循誘子ども見守り隊(循誘)

平成22年5月に、子どもは国の宝・地域の宝を合言葉に、「地域の子どもは地域で育てんばいかん。」という思いで結成され、以来7年間、地域からボランティアを募り、児童の登校時、下校時の見守り活動をしていただいている。現在50名が登録され、「できる時に、できる方が」を基本にされている。また、循誘小で月に1回程度実施されている、災害時を想定した集団下校でも、地域の各所で交通指導等をしていただいている。



にこにこママ(神野)

神野小学校読み聞かせボランティア「にこにこママ」は、1998年4月に発足し、神野小PTA会員、会員OB、地域の方で構成されている。年間11回の全クラスでの朝の読み聞かせや新入生を迎える会、図書館祭り、折鶴集会、クリスマス会、6年生を送る会等々でも読み聞かせをしていただいている。子どもたちも楽しみにしており、読書への興味・関心を持たせる意味でも貢献していただいている。



キラリ賞(団体の部)

せいらんボランティア(嘉瀬)

「子どもたちの健全育成」を活動方針とし、嘉瀬小3年生の総合的な学習「ボランティアってなあに」を全面的に支援していただいて、20年になります。ボランティアの意味、活動についての指導をはじめ、独居老人とのふれあいの集いや独居老人に届ける餅の準備、一人暮らしの方への暑中見舞いや年賀状書き等の具体的な活動の支援をしていただいている。卒業式では、団体代表から6年生一人一人へメッセージと花をプレゼントをされている。



兵庫朝市の会(兵庫)

「兵庫朝市の会」の皆さんは、平成17年から兵庫小2年生の生活科の学習で、学校そばの田んぼで大豆を作り、収穫後、ざる豆腐とおからサラダ作り(親子活動)をしていただいている。子どもたちにとって、自分たちが育てた大豆をゆで、豆乳やおから、豆腐を作り、日本の伝統をいただくという一連の優れた食育の場になっている。まさに兵庫朝市の会の皆さんは、兵庫小学校の子どもたちの食育の先生である。



兵庫町老人クラブ長生会(兵庫)

「兵庫町老人クラブ長生会」の皆さんは、平成13年頃から小学1年生の生活科「昔遊びをしよう」と3年生の社会「古い道具と昔のくらし」の学習支援に来ていただいている。昔遊びでは事前に竹を切り出し、竹馬や竹ぼっくりを製作し、真新しい手作りの道具での遊び方指導をしていただき、昔のくらしでは、マッチやうちわを使って火を起こしての餅焼き、手作りの道具を使ってのもぐらうちなど、貴重な体験を支援していただいている。



高木瀬小学校PTA父親委員会(高木瀬)

高木瀬小PTA父親委員会は、昭和55、56年頃に「父親も子どもたちの健全育成に貢献しよう、先生方を応援しよう。」という目的で発足し、「おやじの会」として現在もいろいろな学校支援をしていただいている。特に今年度は、「熱くたぎった」お父さんの集まりで、校舎改修のため中止になった夏祭りの代わりに、「高小秋祭り～きもだめしスタンプラリー」を企画・実施していただいた。父親委員46人の情熱が他のお父さん方にもいい影響を与えている。



本庄校区子ども見守り隊(本庄)

本庄校区子ども見守り隊は、校区の高齢者70名を中心に、2007年度から「子ども見守り隊」として活動されています。校区を6ブロックに分け、登校・下校時に通学路沿いに立って声かけをし、集団登校の日には、地域から学校まで引率して、子どもたちの安全・安心を見守っていただいている。また、毎月小学校から下校時刻表を知らせてもらい、青色防犯パトロール車で、校区内巡回もしていただいている。



雄飛学園PTA(金立・久保泉)

雄飛学園とは、金泉校区で進められている教育の総称で、金泉校区の子どもたちの「出番」「役割」を幼保、小、中と地域が一体となって「承認」しながら子どもの「良さ」を伸ばしています。このサポート体制も10年目になります。小中3つの学校のPTAも雄飛学園PTAとして、一緒に新聞を作成したり、小中学生と大人がともにソフトドッチボールをする企画をしたり、クリーンボランティアや資源物回収など、地域の皆さんと触れ合えるような場の設定をしていただいている。



諸富町育児サポートかすたねっと(諸富)

平成14年11月に結成以来、地域での子育て支援分野での活動をされている。諸富町の未就園児家庭を対象に14年間継続してサロンを開き、親子の交流の場を提供されている。また、諸富にある常設の子育て広場の設置にも貢献している。一昨年までは、「土に親しむサロン」を開き、作物を作り、そこに父親の参加を呼びかけたり、今年度は、母親たちとイベントに取り組むなど、子どもたちを見守る先駆的な取組をされている。



絵本を読む会めっきらもっきら(春日北)

絵本を読む会「めっきらもっきら」は、平成11年に設立以来、17年に渡り、春日北小の読み聞かせ活動に積極的に取り組んでいただいている。平成11年から平成23年までは、秋の図書館祭りにおいて、20回に及ぶ「ことばのコンサート(朗読や素話、スライド、手遊び等々)」を全学年を対象に行い、児童の読書活動の一助となられている。現在も月に2回、1年生に読み聞かせ、卒業式前には6年生にも読み聞かせをしていただいている。



博愛の里まちづくり協議会安心安全部(中川副)

平成25年にまちづくり協議会が発足し、小学校の朝の登校時の見守り活動が始まり3年目になる。児童が安全に登校できるように毎週月曜日、朝7時前から8時過ぎまで、安心安全部18名全員で交通量の多い交差点や横断歩道に立たれ、見守り活動をされている。警察とも情報交換を行いながら、定期的に部会を開き、見守り活動や対応について話し合いもされている。また、登校時だけでなく、放課後の遊び場所や自転車の乗り方、遊び方の声かけや指導もしていただいている。



東与賀おはなしボランティア 「おおきなかぶ」(東与賀)

東与賀おはなしボランティア「おおきなかぶ」は、東与賀小学校母と子の読書会から始まり、もっと広い活動を目指して2004年に立ち上げられた。佐賀市立図書館東与賀分館や小学校等でのお話ボランティア活動でスタートしたが、立ち上げ当初に小学校から朝の読み聞かせの要望があり、月に2回、月曜日に朝の読み聞かせをするようになり、13年目を迎えている。また、第2、4土曜日は、東与賀分館でお話会をされたり、児童館の依頼を受け、紙しばい会や催しの手伝いもされている。



お問い合わせ

佐賀市教育委員会 社会教育課 子どもへのまなざし運動推進室

電話：40-7354 FAX：24-2332

Email：shakaikyoiku@city.saga.lg.jp